

2020年 ニュースレター 2月号

IVEAT 福岡 Veterinary Specialty Practice (VSP)



1月の活動

1月初旬に北京から深圳に向かい、中国投資家グループの新年会に出席しました。私の知り合いの病院がこのグループに入り、上海のこのグループの研修施設で2ヶ月に一回ぐらいの研修をしてほしいとのことでした。

やる気満々でしたが、新型コロナウイルスが勃発したので、夏くらいまで延期になりそうです。

その後、アメリカのChi InstituteでDr. Clemmonsにお願いし、脳外科実習セミナーを行いました。8名の先生方としっかりと勉強してきました。前日に全員をタンパ空港、オーランド空港、ゲインズビル空港でピックアップすることになりましたが、それはもう大変でした。やはり、個人ツアーで来ていただくときは、発着空港だけは統一した方が良いと思いました。次回からは、そうします。

腹部超音波集中実習も1月に行えました。今回は、お説教が多くなってしまい、参加者には申し訳ない思いをさせてしまいましたが、若手の先生方には、それぞれの症例を最後まで診るという姿勢を大切にしたいです。大きな病院では、担当制ではなく、毎回、違う先生が診療に当たられているところが多いようです。これだと、どのような経過を辿ったかがはっきりわからず、研修の意味がありません。指導医制度が確立されていない病院も多く、もう少し、しっかりと新卒獣医師を指導しないと、これから先、10年、20年は厳しくなるのでは無いかと感じています。私も微力ながら、指導は続けます。

アメリカ獣医放射線学会認定専門医 宮林 孝仁

2月のセミナー予定

2月からの腹部超音波集中実習予定はホームページに開催しています。

また、レントゲン読影の実力をつけるために、読影実習を行いたいと考えています。

また、Study Moduleのような形で、自習できる方法も考えたいと思います。現在、アメリカのDr. Clemmonsの獣医神経病学と私の獣医画像診断学で始める準備をしています。

これからもよろしくお願ひします。

詳細はホームページをご覧ください。

[Http://www.iveat.jp/index.html](http://www.iveat.jp/index.html)